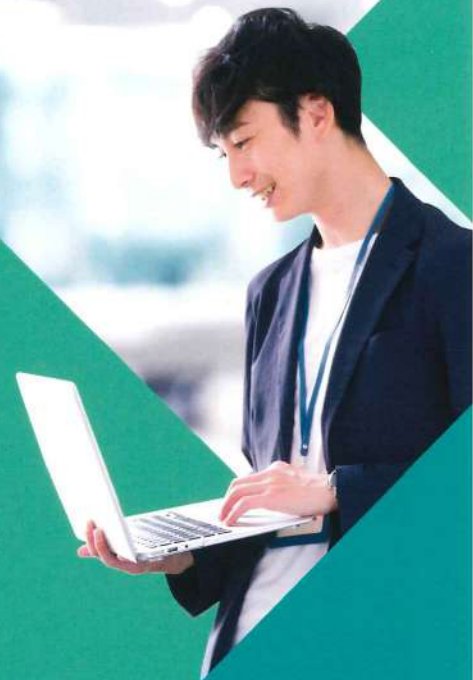


中小機構による 中小企業のための経営分析ツール

経営自己診断 システム



経営自己診断システムとは、中小機構が運営する経営分析のためのサポートツールです。決算書の財務情報から自社の特徴や課題を把握し、経営の意思決定につなげます。

豊富な 財務情報を収録

200万社以上の
中小企業データから比較



かんたん 操作

決算書を入力するだけで、
分析結果を表示

→ 簡単

登録不要の 無料診断

個人情報不要、安心利用



こんな方に
おすすめ!

- ✓ 自社の経営状況を手軽に分析したい
- ✓ 財務に詳しくないが、企業分析を行いたい
- ✓ 業界他社と比較して、自社の特徴を把握したい

経営自己診断システムのWEBサイトがリニューアル。 **もっと利用しやすくなりました!**

リニューアルの
ポイント



POINT
1 webデザインを刷新

わかりやすくシンプルなデザインにアップデート。また、入力の間違い防止や、決算書項目の解説など、より正確な診断ができる機能を追加。



POINT
2 スマホ・タブレット対応

気軽にアクセスできるよう、スマホ・タブレットでの閲覧にも対応。iOS、Androidどちらからも操作でき、外出先などからでも診断が可能です。



POINT
3 業界内での
立ち位置の可視化

自社だけでなく同業他社の「上位30%」と「中央値」と比較・確認ができます。診断結果をグラフ化し、自社の立ち位置を明確化します。

診断についての
詳細は裏面へ

診断の流れ

経営自己診断システムの操作方法はとても簡単です。「診断スタート」をクリックしてください。

STEP 1 入力画面

基本情報と決算書情報(貸借対照表、損益計算書、前年度指標)を入力してください。「診断する」をクリックすることで結果が表示されます。

STEP 2 総合分析

決算書情報から、「収益性」「効率性」「生産性」「安全性」「成長性(前年指標を入力した場合のみ)」の総合結果が表示されます。自社の強みや課題を一目でチェックできる他、着目すべき個別指標までを確認できます。



STEP 3 個別指標分析

入力した決算書情報から、自社の経営状態を同業他社と比較することができます。27指標を収益性・効率性・生産性・安全性・成長性の5つに分類し、「自社の値」と「業界の値」を比較します。



STEP 4 倒産リスク分析

安全性項目に関する10指標を、業界標準及びデフォルト企業の数値と比較することで、自社の経営危険度についても確認できます。



簡単な操作で自社の経営状態を診断できます。ぜひ中小機構の「経営自己診断システム」をご利用ください

経営自己診断システム <https://k-sindan.smrj.go.jp/>



独立行政法人 中小企業基盤整備機構
経営支援部 企業支援課

〒105-8453 東京都港区虎ノ門 3-5-1 虎ノ門 37 森ビル TEL: 03-5470-1564 メール: honbu-keiei@smrj.go.jp